

特別展  
没後50年

# 内田巖展

同時開催／収蔵作品展Ⅳ

猪熊弦一郎・小磯良平とともに

2004年10月2日(土)▼11月28日(日)

会期中一部展示替  
をいたします。



内田巖「若きハンガリー人」 1931年 鹿兒島市立美術館

## 神戸市立小磯記念美術館

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7

TEL.078-857-5880

[http://www.city.kobe.jp/cityoffice/57/kosao\\_museum/](http://www.city.kobe.jp/cityoffice/57/kosao_museum/)

- 休館日/毎週月曜日(ただし10/11は開館、10/12は休館) ■開館時間/午前10時～午後5時(入館は4時半まで)
- 交通/R住吉駅・阪神魚崎駅のりかえ、六甲ライナー「アイランド北口」駅下車、西へ徒歩すぐ
- 入館料/一般700円(550円)、高大生500円(350円)、小中生300円(150円)※( )内は30名様以上の団体  
シルバー350円(65歳以上で神戸市すこやか手帳御持参の方)
- 主催/神戸市立小磯記念美術館・新見美術館・神戸新聞社
- 後援/NHK神戸放送局・(財)神戸市民文化振興財団・サンテレビジョン・AM神戸
- 協力/丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
- 入館無料日/KOBE観光の日(10/3)・関西文化の日(11/20、11/21)



# 没後50年 内田巖展 —猪熊弦一郎・小磯良平とともに—

戦前から戦後の日本洋画界のリーダーの一人として重要な足跡を残した内田巖の没後50年を機に「没後50年 内田巖展—猪熊弦一郎・小磯良平とともに—」を開催します。

内田巖は、1900(明治33)年、明治の文芸評論家、内田魯庵の長男として東京・牛込に生まれました。1921(大正10)年、画家を志し、東京美術学校西洋画科に進み、藤島武二教室で学びます。同校在学中の1925(大正14)年、前田寛治と運命的な出会いを果たし、それまでの絵画観を一変させます。その後、第7回帝展に初入選し、以後、帝展、光風会展、一九三〇年協会展などに出品。1930(昭和5)年には渡仏、アカデミー・ランソンに学び、コロエを研究し、1932(昭和7)年帰国。同年滞欧作《若きハンガリー人》が第13回帝展に入選し、画壇の注目を集めます。その後帝展騒動を機に、1936(昭和11)年、猪熊弦一郎、小磯良平ら同志8名と共に純粋芸術の確立を唱えて新制作派協会(現 新制作協会)を結成します。

しかし、戦争が激化する中、戦争への協力を回避し、1944(昭和19)年、妻・静の母の故郷である岡山県刑部町(現 大佐町)に家族と共に疎開。地域の文化人と交流し、岡山県北地域の文化向上に貢献しました。

戦後は東京に戻り、1946(昭和21)年4月、進歩的美術家たちによる日本美術会の結成に加わり、初代書記長に就任するなど、新しい美術運動のリーダーとして画壇の民主化運動に活躍、また、平和・労働運動にも尽力しました。しかし、1953(昭和28)年病に倒れ、53歳という若さで、画業半ばにして突然この世を去りました。

没後初の本格的回顧展となる本展では、初期から晩年までの代表作に未公開作品も加え、さらに東京美術学校時代、新制作派協会創立時からの、よき友であり、よきライバルであった猪熊弦一郎、小磯良平の作品も併せて展示し、没後50年を迎えた内田巖の全貌に迫ります。



- ① 内田巖《自画像》  
1926年 東京藝術大学
- ② 内田巖《青衣の女》  
1932年
- ③ 内田巖《港》1937年  
神奈川県立近代美術館
- ④ 内田巖《岩と水》  
1941年 日原区美術館
- ⑤ 内田巖《嵐》1946年



⑥ 猪熊弦一郎《夜》1937年  
九集市猪熊弦一郎現代美術館



⑦ 小磯良平《着物の女》1936年  
神戸市立小磯記念美術館

⑧ 内田巖《ラ・ベ(平和)》  
1952年 東京国立近代美術館

## 会期中のイベント

- 講演会/内田巖の画業—疎開時代を中心に— 講師/逸見芳春氏(前新見美術館館長)  
10月31日(日)午後2時～ 美術館2階絵画学習室にて(定員80名)
- 美術館大作展3/RCアートカプセル 20 YEARS LATER... (10/23, 24)  
10月23日(土)、24日(日)午前11時～午後5時(24日は午後4時終了)  
六甲アイランドリバーモール北側・緑道での屋外イベント(詳細はお問い合わせ下さい)
- 解説会/毎週日曜日午後2時より(約30分)当館学芸員によるスライド解説
- アトリエ解説/開館日の午前11時、午後2時より(約20分)インフォメーションスタッフによる案内  
※他イベント開催時変更あり

## 次回展覧会のお知らせ

第7回小磯良平大賞展(展示室2・3)/収蔵作品展V(展示室1)  
12月11日～2005年2月13日



美術館の地下には市営駐車場(有料)があります。